

登録日時	2009 4/22 16:27	登録番号	019
チーム名	アジア・パシフィック水道技術情報ステーション		
行動主体	<p>公益財団法人水道技術研究センター 日本水フォーラム 水道事業体、水道関係団体、学識者、民間企業等(調整中)</p> <p>(代表者) 公益財団法人水道技術研究センター 理事長 大垣 眞一郎 (事務局) 同 調査事業部 松本 浩明 TEL: 03-3597-0214 E-mail: station@jwrc-net.or.jp</p>		
行動内容	<p>インターネットや国際会議(水道技術国際シンポジウム及び日中水道技術交流会)等を通じて、アジア・パシフィック地域の水道関係者との事業マネジメント全般に関する相互の技術情報ネットワークや人的ネットワークを構築し国内水道界へ還元することで、水道技術分野における情報交流・人的交流の一層の発展に寄与する。</p> <p>①【情報発信】日本の水道技術・マネジメントの情報を海外へ発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本の優れた水道技術の発信 ● 日本の水道事業の情報を業務指標: Performance Indicator (PI) の形式等で発信 ● 産・学・官による水道分野の先進的な研究活動等の情報を発信 <p>②【情報収集】海外の水道事情の実態や将来のニーズ等の情報収集・国内への還元</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 海外の水道事業・技術に関する情報の集約 ● PIによる国内外の水道事業の比較分析 <p>③【情報交流】海外との情報交流・人的交流の場の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国際会議等の定期 kaisai ● 海外の水道技術分野の関係機関等とのネットワーク構築 		
課題分析	<p>日本の水道は世界でも最も高い水準を実現している。今後、日本の水道の持つ優れた経験・技術力によってアジア・パシフィック地域の衛生的な水確保・水道環境の改善に貢献し、国内外相互の持続可能な水道サービスの実現に向けた活動を展開していくことが必要である。</p> <p><課題></p> <p>① 国際貢献を円滑に推進するために、日本の持つ優れた技術や経験について世界への情報発信を積極的に進めることで、国際社会におけるプレゼンスを高めること。</p> <p>② 地域のニーズに応じたより効果的な国際貢献を推進するために、海外の水道事業の実態や水道技術の動向を把握すること。</p> <p>③ 海外とのネットワークの構築により交流の場を提供し、日本の水道技術の海外展開を支援すると共に、国内水道界の技術力の維持・発展に貢献すること。</p>		
留意事項	水道技術分野の情報ステーションとして、他のチームや関係機関の活動との連携及び情報の共有化を確保する。		